

環境配慮個票

事業名	農村地域防災減災事業	地区名	中ノ浦	受益面積	10.4ha
関係市町村名	須崎市	予定工期	令和7年度～令和11年度		
総事業費	824,000千円	R7年度以降事業費		824,000千円	
総事業量	排水機場 1式	R7年度以降事業量		排水機場 1式	
マスタープランの区分	環境配慮区間	自然公園等の指定		無	
既存資料による希少種の情報の有無		有 (R6 環境調査資料)			
周辺の環境	本地区は、高知県の中心である高知市より西方 35km の須崎市浦ノ内に位置し、浦ノ内湾最深部に展開する低湿地である。現況において降雨による地区内流出水は、現在の排水施設（排水機場及び排水路）により浦ノ内湾へ排出している状態である。地区内農業形態の変化（ハウスの増加）・背後地の地目状況変化（宅地の整備）・雨と潮位の関係・排水機場流域外からの溢水、確率降雨量が大きくなっていることなどにより、近年の集中豪雨などで地区内において浸水被害が発生している。				
地区の環境の特性	・概要 本地区は、浦ノ内湾の最奥部にあり、海側の水深も比較的浅く、また波浪の影響も受けにくい環境に位置している。そのため、堤防のない時代には、潮汐によって冠水する塩性湿地がこの地域に広がっていたものと考えられる。その後堤防が築かれ、人の手が入ることにより平野部は耕作地に変化していったものと推測される。 ・植物 現地調査を行った結果、本地区で確認された植物は、45 目 94 科 337 種であった。 希少種は、〇〇〇（環 NT）、〇〇〇（環 NT、県注）の 2 種が確認された。 ・魚介類、両生類 現地調査を行った結果、本地区で確認された魚類は 6 目 7 科 14 種、貝類は 5 目 10 科 11 種、甲殻類は 1 目 6 科 11 種、両性類は 2 目 4 科 6 種であった。 希少種は、魚類は〇〇〇（環 EN、県 NT）、〇〇〇（環 NT、県 CR+EN）、〇〇〇（環 VU、県 CR+EN）の 3 種、貝類は〇〇〇（環 VU、県注）、〇〇〇（環 NT）、〇〇〇（環 NT、県 NT）の 3 種、甲殻類は〇〇〇（県 NT）、〇〇〇（県 NT）の 2 種、両性類は〇〇〇（環 NT、県注）、〇〇〇（環 NT）の 2 種が確認された。 ・昆虫 現地調査を行った結果、本地区で確認された昆虫は、13 目 79 科 184 種であった。 希少種は、〇〇〇（県 NT）の 1 種が確認された。 ・爬虫類 現地調査を行った結果、本地区で確認された爬虫類は、2 目 3 科 4 種であった。 希少種は、〇〇〇（環 NT、県注）の 1 種が確認された。				
配慮すべき事項	①濁水処理施設設置 ②汚濁防止対策 ③保護移動				
配慮方針	①仮設鋼矢板を設置し、周辺環境への影響を最小限に抑える。 ②濁水が発生する恐れがある場合、オイルフェンス設置を検討し、必要に応じて 2 重にする。 ③確認地点の全体的な改変を行う場合、事前に適地へ移動する。				